

学校図書館支援通信



178号

令和5年度 市川市教育センター

学校司書研修会

学びの風景

11月29日に学校司書研修会が行われました。学校司書は、各校に一人の専門職として、研修会を通して情報交換をしながら互いに高め合っています。今回の研修の中では、学校司書同士でブッカー（本の表紙に貼る透明なシート）の貼り方と、学校図書館の掲示物について学び合いました。



学校図書館の本は、ブッカーというシートを貼って補強しています。本の形に合わせて貼っていくので、貼っていく際にはシートの切れ端がでます。その切れ端さえも無駄にせず利用する方法や、使いやすいハサミ・定規の紹介など、アイデアを交換しながら進めました。

研修の後半は、学校図書館の掲示物について、自館の写真や実物を持ち寄って紹介し合いました。季節に合わせたものや、本の紹介を中心とした掲示物についての話し合いが活発に行われ、グループごとに顔を寄せ合いながら学びました。

中には、実際に色紙を切って全員でバラの成型を学ぶグループもありました。他にも、果物が包んであるネットを使ったリサイクル掲示物、次年度も使えるように強度をつけた掲示物のアイデアなど、さまざまな情報が飛び交う時間となり、充実した研修会となりました。



北方小では11月6日から3週間、秋の読書週間を開催しました。図書委員による読み聞かせや、先生のおすすめ本の展示、ブックツリーの作成など様々なイベントを行い、多くの来館者がありました。



先生のおすすめ本の展示



ふしぎなトリックアート店



ブックツリー

中でも図書委員のアイデアで、図書館の本から実際に不思議な工作やだまし絵を作り、開店した「ふしぎなトリックアート店」は、とても人気でした。ブックツリー作成は全校生徒が取り組み、みんなが好きな本を書いた葉っぱが集まりひとつの大きな木になりました。

今後も、図書館を子どもたちが楽しんで訪れ、本を通して交流が持てるような場所にしていきます。

市川市立北方小学校 学校司書 藤井 真喜



今年度前期（4月～9月）の学校図書館授業時間数調査の結果をお知らせします。調査のご協力ありがとうございました。

今年度は、特に国語科、総合的な学習の時間の活用が多く見られました。また、小学校でも中学校でも全ての教科で活用されていることから、どの教科も学校図書館の活用を広げられる可能性があることがわかります。

教科等	授業時間数
国語	13,240
社会	1,121
算数・数学	5
理科・生活	1,234
音楽	25
図工・美術	516
保健体育	27
技術・家庭	158
外国語	49
総合	1,977
道徳	71
特別活動	87
その他	134
合計	18,644

情報を得る時、課題を解決する時に必要となってくるのが、ICTや学校図書館資料です。ICTに慣れ親しんでいる児童生徒にとっては、目次や索引の使い方に不慣れなことも多くあります。

資料の使い方等の丁寧な指導と同時に、読書の楽しさを、ぜひ先生方から発信していただければと思います。

また、自校の学校図書館の活用について今一度振り返っていただき、司書教諭のリーダーシップのもと、学校図書館運営を行っていただきたいと思ひます。

『学校図書館支援通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市教育センター

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu17/122100001.html/>